

CASBEE-建築(新築)2016年版
日本インバ外機京丹後配送センター

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.0
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ゾーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
1 屋光率										
2 方位別開口										
3 屋光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 屋光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										
2 免震・制震・制振性能										
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数										
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										
5 空調・給排水配管の更新必要間隔										
6 主要設備機器の更新必要間隔										
2.4 信頼性										
1 空調・換気設備										
2 給排水・衛生設備										
3 電気設備										
4 機械・配管支持方法										
5 通信・情報設備										

3 対応性・更新性			-	-	-	-
3.1 空間のゆとり			-	-	-	-
1 階高のゆとり			-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ			-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	-	-
3.3 設備の更新性			-	-	-	-
1 空調配管の更新性			-	-	-	-
2 給排水管の更新性			-	-	-	-
3 電気配線の更新性			-	-	-	-
4 通信配線の更新性			-	-	-	-
5 設備機器の更新性			-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	1.00	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	5.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.36	5.0	1.00	-	5.0
4 効率的運用			-	-	-	-
集合住宅以外の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	2.3
1 水資源保護			3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水			-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	1.00	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.0	0.60	-	2.0
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.20	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.40	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.40	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.5	0.20	-	2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用			-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	1.00	-	-
1 消火剤			2.0	0.50	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-
3 冷媒			-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		主な設備は照明のみで省エネ器具を利用	4.2	0.33	-	4.2
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.33	-	-
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1 騒音			3.0	0.33	-	-
2 振動			3.0	0.33	-	-
3 悪臭			3.0	0.33	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40	-	-
1 風害の抑制			2.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制			-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-